()有りは関連 ()無しはその教科時間を活用

		2.創造子首 単元の未続 学習内容	,	<b>単二で拠ウナス</b>		9 年間の達成レベル (● 期待される子どもの姿)					()無しはその教科時間を活用
			単元で探究する 発問	成果物	ア)互いの強み弱みを認め合い、チームとして 高めあうカ	イ)周りの状況からよみとったり、自ら収 集したりした情報を処理し、活用するカ	ウ)課題を明確に把握し見通しをもって 主体的に取り組むカ	時間	関連教科	地域リソース	
中 3	「南あわじ 市の伝統芸 能・産業を世 界へ発信」	南 の 能 ・ を を を そ う う り よ ェ ク う フ ト フ ト フ ト フ ト フ ト フ ト フ ト フ ト フ ト フ	南あわじ市の伝統芸能・産業の <u>魅力を世界に発信</u> する。	地域の継承・発展 を考えることは、 自分にとってどの ような意味がある のか?	南あわじの 伝統芸能・ <mark>産</mark> 業について の英語の動 画	ア) 協働活動の意味と価値や、お互いの特性を理解し、目的に応じて最適な連携により最大の効果を発揮してチームの力を高める	イ)これまでの課題についての情報処理・活用手法を検証し、多面的な分析と他者との建設的な議論により、新たな仮説や結論を導き出し、条件に応じて適切に提案・発信する	ウ)課題に対する解決案の検証結果 から、実効性のある解決案を策定 し、具体的な実現を目指す	10	(英語:世界発信に向けての 表現) (技術:情報収集、動画編集 ソフトの使い方)	各地域の伝統芸能・産業 に深く関わる人々 市の観光課 (インタビューなどを依頼) など
中 2	「南あわじ 市・ <mark>産業</mark> の伝 統芸能の魅 カ再発見」	南あわじ市芸の の伝統業 を未来を 探る	南あわじ市の伝統芸能・産業の現状と課題を知り、自分たちにできることを考え、全国へ地域の伝統芸能の魅力を伝える成果物を作成する。(他の地域や国の伝統芸能との比較をすることで、地域の伝統芸能の魅力を特定する)	世界に誇れる郷土 の伝統芸能・産業 を引き継いでいく ために、自分たち にできることは何 だろう?	南あわじ市 の伝統芸能・ 産業につい てのプレゼ ン	ア)協働活動の意味と価値を理解し、活動 の結果から互いを認め合い、次の協働活 動に活かす	イ)自ら課題を設定し、適切に情報処理・活用手段の選択し、他者と建設的な議論をしながら解決に必要な情報を判断し、対象や目的に応じた表現で発信する	ウ)課題に適した情報の収集・分析 により見出した解決案を多面的・ 多角的に検証する	10	(国語:インタビューをしよ う、伝わるための発表の工 夫) (技術:情報収集、プレゼン 機器の使用方法など) (社会:地域の伝統芸能、伝 承芸能、産業)	各地域の伝統芸能・産業 に深く関わる人々 (インタビューなどを依頼)
中 1	「淡路人形 浄瑠璃の魅 カ再発見」	淡路人形浄 瑠璃の今と 未来を考え よう	淡路人形浄瑠璃の現状と課題を知り、自分たちにできることを考え、全国へ淡路人形浄瑠璃の魅力と課題解決策を伝える成果物を作成する。	ることは何だろ		ア)協働活動に意思をもって参画し、現状 を客観的に観察・分析する	イ)自ら進んで課題を見つけ、解決に 必要な情報を、適切な選択により収 集し、話し合う。	ウ)課題に対する解決案を策定し、 表現を工夫してまとめ・発表する	10	(国語:手紙の書き方、発表 の仕方) (技術:情報収集、PPTの使 用方法、プレゼンの仕方 等)	淡路人形座・保存会・郷 土芸能に携わる方々 (インタビューなどを依頼) ★淡路人形座 出前講座
小 6	浄瑠璃につ	淡路人形浄 瑠璃と私た ちのつなが りを考えよ う	淡路人形浄瑠璃につながる 地域の伝統芸能(だんじり 唄等)について深く知り、伝 統を継承・発展することの 意義について自分たちなり の考えをもつ。	地域の伝統芸能を 引き継いでいく必 要があるのはなぜ か、自分はどのよ うにかかわってい きたいか?	(地域の伝統芸能を継承・発展させることへの意見文)	ア)自分の役割を理解し、役割を認識して 協働活動に参画する	イ)目的や視点に応じた適切な調べ方 を選択して情報収集し、調べ、検討 を通して、事実と意見を明確にまと め発表する	ウ)課題を多面的にとらえ、解決の ための考え(手だてや手順)を適 切な手法で選択し、よりよい解決 案を見出す	9~10	(国語 : <mark>話し合って考えを深 めよう</mark> 、町の未来をえがこ う)	各地域の伝統芸能に深く 関わる人々 (インタビューなどを依頼) ★だんじり保存会
小 5	「浄塚高」 ・演目- 「ことに魅力を ・発信」	淡路人形浄 瑠璃の魅力 を探ろう	淡路人形浄瑠璃の演目について深く知り、自分たちが魅力だと思ったところを、まだ淡路人形浄瑠璃を観たことのない人に向けてその魅力を伝える成果物を作成し発信する。		初人 形 <mark>浄瑠璃</mark> 東国 東国 東国 東国 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	ア) 互いの特性を認め合い、多様な考え方についての価値を理解して協働活動に参画する	イ)目的や視点を明確にして情報を集め、調べたことの経過や結果を適切な手法でまとめ、発表する  ● ●	ウ)課題を多面的に捉え、解決のための考え(手だてや手順)を適切に選択し、解決案を見出す	10	国語 1 時間 : 問題を解決す るために話し合おう	淡路人形座 ◆鑑賞(校外学習) 淡路 人形座 *バス代借上料:市教委
小 4	「淡路人形 浄瑠璃の理 解④」 -携わる人の 思い-	続く淡路人	<ul> <li>淡路人形浄瑠璃が500年も</li> <li>受け継がれてきたことを携わる人の思いから理解し、</li> <li>自分たちも引き継いでいくためにどうすればよいかを考える。</li> </ul>	淡路人形浄瑠璃は なぜ 50500年間 も受け継がれてき たのだろう?	( <mark>淡路人形</mark> <mark>浄瑠璃</mark> にかっったこで たてで る)	ア)自他を理解し、認め、他者の考えと自分の考えを比較、分析して自分の考えを 深める	イ)身近な社会について、見学・調査 したり、資料で調べたり、調べたこ とを自分の言葉でまとめ、発表する	ウ)課題に対する自分の考えをまとめ、他者を意識して発表し、話し合いなどにより自分と他者の考えの違いから再考した自身の意見 (賛成や反対などの理由)を示す	9	社会 1 時間: 地いきのはっ てんにつくした人々 国語 1 時間:お願いやお 礼の手紙を書こう	淡路人形座・保存会・郷 土芸能の方々 (インタビューへの回答)
小 3	「淡路人形 浄瑠の理解③」 -人形遣い、 太夫、三味線 など-	人形浄瑠璃 (人表・主 い・太夫・三 味線)につ いて知ろう	淡路人形浄瑠璃を構成する 人形遣い、太夫、三味線などを知り、わかったことをクイズにまとめて下級生やおうちの人に伝える。	必要な役割って何	<u>淡路人形浄</u> <u>瑠璃</u> のクイズ	ア)自他を理解し、認め、相手の状況に応 じて自分の意見を言える	イ) 身近な社会について資料を用いて 調べ、調べたことを図や文章にま とめる ● ●	ウ)課題に対する自分の考えをまとめ、わかりやすく発表したり、自分と他者の考え(賛成や反対など)を比較したりしながら聞く	10	社会 2 時間: わたしたちの 住んでいる市のようす、う つりかわる市とくらし	人形浄瑠璃・人形などの 画像や映像(DVD) 淡路人形座・保存会・郷 土芸能の方々 ★淡路人形座 出前講座 (2・3 年合同)
小 2	「淡路人形 浄瑠璃の理解②」 -人形の動か し方-	の人形にふ	<u>人形</u> を動かす時には <u>3 人が</u> <u>息を合わせて動かす</u> ことを 知る。		(クラスの 中でわかっ たことを交 流する)	ア) 他者との違いに気づき、自分との違い を理解する	イ)身の周りの人や出来事について興味を持ち、家族や周囲の人に聞いたり、話したりする活動を通して伝え方を知る	ウ)課題に気づき、その気づき(わかったこと・思ったこと・不思議に思ったこと)を、相手を意識して話したり、書いたりすることで課題について理解する	6	(国語:こんなことをしてい るよ、かんさつしたことを 書こう)	人形浄瑠璃・人形などの 画像や映像(DVD) 淡路人形座・保存会・郷 土芸能の方々 ★淡路人形座 出前講座 (2・3 年合同)
小 1	「淡路人形浄 瑠璃の理解 ①」 -人形のかし ら-	人形浄瑠璃 の人形にふ れよう	人形のかしらの表情に注目 し、どのように動かしている かを知る。	町のいろいろなとこ ろにある <u>人形</u> って、 いったいなんだろ う?	(クラスの中 でわかったこ とを交流す る)	ア)他者に関心を持つ	イ)身の周りの人や出来事に興味を示し、自分との関わりを理解する   ● ●	ウ)課題と出会い、わかったことや思ったこと、不思議に思ったことを自分ら しく話したり、書いたりする	4	(国語:しらせたいな見せたい な) (生活:げんきにそだて わたし のはな)	人形浄瑠璃・人形などの 画像や映像(DVD) ★かしらの貸出